

服も、道具も、ずっと使い続けたいから。この夏、自分流の定番リストを完成させる。

© 2016 THE DAY No.17 2016 EARLY SUMMER ISSUE

# THE DAY



MIGHTY SHINE  
HAT



DESCENDANT  
SHORTS



BALABUSHKA REMNANTS  
JUN HIRANO



STANDARD & JAPAN MADE  
SUPREME x SQUATCHFABRIX.  
FOLDING FAN



GRAMICCI x BEAMS  
CLIMBING SHORTS

## 夏の定番と



SAWADA COFFEE USA  
HIROSHI SAWADA



NONNATIVE  
SOX



GRATEFUL DEAD  
T-SHIRT



CLENDON RETE  
RING



RADIAL  
SNEAKERS

## ジャパン・メイド



NALUTO TRUNKS  
BOARDSHORTS



CHOUINARD EQUIPMENT  
ALOHA SHIRT



SUN/KAKKE  
YUHI OZAKI



SEE SEE  
INTERIOR



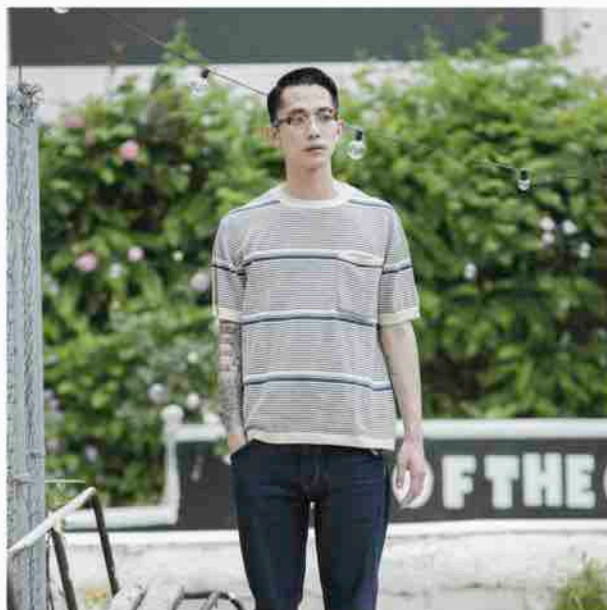
PORTER CLASSIC  
SHIRT



JENNIFER CURTIS  
BANGLE



ROUGH AND RUGGED  
ENOSHI



SON OF THE CHEESE  
KAITO YAMAMOTO



NONNATIVE x LACOSTE  
T-SHIRT



ARTIST  
ULFULS



HTC  
SANDALS



MELPLE  
SHORTS

### Summer Wardrobe for Urban Surfers

2016 EARLY SUMMER ISSUE No.17

とある部屋で



第二回 ある季節の、ある視点から見た、ある静かな時間。

styling | Shinya Endo photo | Kenji Nakata story | Mayu Sakazaki

ユースならグレイプフルーツ  
かパイナップル。野菜ジュース  
の場合はぶどうが入った紫のやつ。  
水は菓のときだけで、喉がかわいたら冷えた麦茶、ほっとしたいときは急須で淹れたほうじ茶。朝はミルクを少しだけ入れたコーヒード、ものすごく疲れているときはレッドブルを一缶。気分がいいときは瓶ビールか白ワイン、つまみによつては日本酒も飲む。酔うと独り言が多くなって、そんなときに映画なんか見はじめると、すぐに寝る。いいシーンなのに……。この部屋に暮らすその人は、2週間前どこかへ行ってしまった。大きな鞆に身のまわりのものを少しだけ入れて、買ったためた絵の具と大きなノートブック、布に包んだ絵を一枚持って。部屋の電源やライトを入念に確認してから、最後に僕らをペランダに出して、ゆっくりと時間をかけてたっぷりの水を注ぎ、部屋に戻して、小さくこう言った。



ワインダム フェザー ソファ ¥300,000 (アグメ ファニチャー)、ウォーキングオン4L ¥4,200、ダストパン ¥6,000、エアロン ¥7,000、ウォッシュバスリッパ ¥3,700 (すべてアグメ ファニチャー 渋谷店 ☎03-5728-5355)、パロットクッションカバー ¥17,000、イハネマクッションカバー ¥15,000、タイドヘルペットクッションカバー ¥4,500、リットテーブルヘキサゴン ¥27,000 (ヘイ)、ミュージックボックス ¥160,000 (チボリ)、ツイストワイヤーボード ¥1,200、ログバスケット ¥28,000 (セラックス)、100%コットンタオル ¥65,000、ワッペンバンド ¥4,300 (ヘイ) (すべてザ・コンラッシュョップ ☎0120-04-1660)、テーブルランプ ¥40,000 (アグメ ファニチャー 目黒通り店 ☎03-5720-1071)、ジュリアンボックス脚付きスケッチ箱 ¥50,000、ジュリアンボックステーブルイーゼル ¥14,500 (ともにホルベイン画材 ☎0120-941-423)、アイアンフレームキャスターAVボード ¥39,000、アトワープフェイスオブジェ ¥39,000、クランプ ¥18,900、人体オブジェ ¥1,800、アムステルダムピアマク ¥3,800、オランダペンダントランプ ¥44,000、オランダウッドアッシュトレイ ¥6,800 (すべてクックスファニチャー ☎03-3460-2530)、アート 小川万莉子 無題 各価格要問合せ (アートギャラリー ローゼット ☎03-5469-0355)、フレーム ¥6,000、ペンスタンド ¥1,800、ウィンテージボール ¥3,000 (すべてノートワークス ☎03-6450-7392)

が来て、ゆっくりと陽が落ちて夜になる。壁にかかった時計がゆっくりゆっくり一周する。ただそれだけ。他のやつらはどうかかわらないけど、僕はここが気に入っている。あんまり綺麗じゃないけど、そこも嫌いじゃない。いちばん好きなところは、午後14時ちようどに、びつたりの場所に光があたつてくる。とくに、春から初夏にかけての季節がいい。きっと彼も同じなんだろう。いつもこの季節になると、しばらくどこかへ行ってしまおうからね。つぎに好きなところは、古い本の匂い。本棚を買う金がないらしく、床に平積みして、机にも大抵2〜3冊は置いてある。大きさがバラバラの本を重ねるもんだから、いつも不安定だ。そのつぎ、壁ぎわに置いてある小さな机に、立てかけてある写真の景色。なんか目に入っちゃって、最初はちょっと気になってたんだけど、今はそれがなくなにか足りない気分にな

のと思うけど、きつと気に入るものが見つかからないだろう。たまに手にとつて、椅子に座つてしばらく眺めてから、また同じ場所に戻す。どんな効果があるのか知らないけど、たぶん、何かの指針になつているのかも。そんな姿を見ていたら、だんだんと、僕もその写真が好きになつた。べつに、ぜんぜん特別じゃない、ふつうの景色なんだけだ。

そろそろ一ヶ月になる。今回は、ずいぶん長旅だ。今日あたり帰ってくるんじゃないかと思つたときから、もう1週間はすぎている。まあ、渴き加減もちょうどいい頃合いだし、静かに過ごせるのはありがたいけど、ここに来たときの話しようか。僕はしばらく別の部屋で暮らしていた。前にいた場所は、もうちよつと広くて、物が少なく、そこもけつこう気に入つてた。そいつの部屋には、カメラとフィルムがたくさんあつた。

われた。「行ってくるよ」。それ以来、僕はずつとここにいる。そいつのことは、それから一度も見かけてないから、ずいぶん遠くへ行つたんだらう。もしかしたら、今回の旅の行き先は、そいつが行つた。どこか遠く。かもしれないけど、ふと思つた。出発の朝までずっと絵を描いていて、完成してから、大事そうに梱包していた。いつかその絵が、この部屋にある写真のように、誰かの指針のような存在になつているのかもしれない。もしかしたら、年に何度か訪れるこの静けさが気に入るから、もうしばらく帰つてこなくても、いいかもなあ……。そう思った瞬間、玄関のドアが一ヶ月ぶりに開いた。出かける前よりずいぶん日に焼けて、荷物が3倍くらいになつた部屋の主が、中に入ってきた。荷物が多いくせに、グレイプフルーツジュースを片手に持つている。そして小さくこう言った。「た、だいま、元気だったか?」。

REISM



「Union」と名づけられた部屋は、モダンな表情のモルタル、寄せ木でつくられたパーケットのフローリング、建具のブラックフレームと、異素材をミックス。ごくシンプルな暮らしに出会える。www.re-ism.jp



ときに物語の語り手となる植物たちは、バランスなどは考えず“出会い”で選びたい。しよつちよう旅に出かけてしまうなら、あまり手のかからない多肉植物を。部屋に生物がいるだけで、不思議と空気が変わってくる。



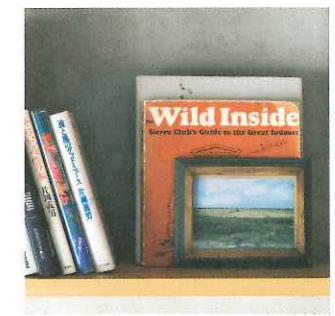
急にどこかへ行きたくなくても、画材を入れて折りたたんで運べるイーゼル。フランス製で、家具や楽器にも使われるニレ木製はその佇まいに背筋が伸びる。ペンスタンドは適当に代用して雑然と使うのがスタイル。



アクリル絵の具、油彩、木炭、蜜燻などを織り交ぜた表現豊かな作品。ぼんやりと眺めていると、どこかの風景のような、部屋のような、波のような、色々なものに見えてくる。そして鮮やかな青に救われる。



ちょっと休憩……と腰掛けただけで、その独特の柔らかなさじいつの間にか眠気を誘われてしまおう。フェザー ソファ。クッションのアートワークは統一しないほうが、かえって統一感が出る不思議。



古材や端材を組み合わせて、一点一点ハンドメイドでつくられる(ノートワークス)のフォトフレーム。“ぜんぜん特別じゃない、ふつうの景色”も、世界にたったひとつのフレームに入れるだけで少し誇らしげに。